

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月15日 (2009.1.15)

【公表番号】特表2008-520370(P2008-520370A)

【公表日】平成20年6月19日 (2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2007-543281(P2007-543281)

【国際特許分類】

A 6 1 M 37/00 (2006.01)

B 0 5 D 1/32 (2006.01)

B 0 5 D 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 37/00

B 0 5 D 1/32 A

B 0 5 D 7/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月17日 (2008.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材および少なくとも 1 つのニードルを有するマイクロニードルアレイを提供する工程と；

マスキング層によって基材が少なくとも部分的に被覆され、そして少なくとも 1 つのニードルが少なくとも部分的に暴露されたまま残るように、マイクロニードルアレイ上に取り外し可能なマスキング層を提供する工程と；

マイクロニードルアレイの暴露部分の少なくとも一部にコーティング材料を適用する工程と

を含んでなるマイクロニードルアレイのコーティング方法。

【請求項 2】

マスキング層が流体である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

コーティング材料が、キャリア流体を含んでなるコーティング溶液から適用され、そしてキャリア流体を蒸発させて乾燥コーティングを提供する工程をさらに含んでなる請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

マスキング層の流体がフッ素化液体である請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

コーティング溶液が治療活性物質を含んでなる請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

コーティング溶液が、ワクチン、ワクチン補助剤またはそれらの混合物を含んでなる請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

コーティング材料がマイクロニードル上に優先的に付着される請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

マイクロニードルアレイ上に取り外し可能なマスキング層を提供する工程の前に、マイクロニードルの表面の少なくとも一部がプラズマ処理に供される請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

マイクロニードルアレイ上に取り外し可能なマスキング層を提供する工程の前に、マイクロニードルの表面の少なくとも一部上に固体コーティングを提供する請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

マイクロニードルアレイの暴露部分の少なくとも一部にコーティング材料を適用する工程の前に、溶媒がマスキング層に適用される請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】マイクロニードルアレイのコーティング方法